

## トピック

- プーチン大統領と安倍総理は第3回東方経済フォーラムの際に会うことで合意
- ロシア人は「極東1ヘクタール」の無償提供を依頼する申請書を84,000通以上提出
- 18カ国からはロシア極東を電子ビザを持って訪問可能



## 東方経済フォーラム関連ニュース

2017年4月27日 タス通信

### プーチン大統領と安倍総理は第3回東方経済フォーラムの際に会うことで合意

モスクワでの会合でV・プーチン大統領と安倍晋三総理は、政治、貿易・経済、人文における協力の見通しを審議した。7月のG20ハンブルク・サミットおよび9月6～7日にウラジオストックで開催される東方経済フォーラムで会う予定だと強調した。

<http://tass.ru/politika/4217645>

2017年4月24日 『極東資本』

### EEF 2017でロシア極東開発複合計画紹介

国家プログラムの「極東セクション」および地域開発複合計画のプレゼンテーションは、EEF 2017のテーマ個別の二回の会議で行われる予定。もう一回の会議で国営企業の開発および投資プログラムの「極東セクション」を取り上げる。

国家および国家企業プログラムの「極東セクション」、極東地域開発複合プログラムは国家プログラム「極東とバイカル地域の社会経済開発」の重要な構成部分になる。

[http://dvkapital.ru/regionnow/primorskij-kraj\\_24.04.2017\\_9804\\_vo-vladivostoke-na-vef-prezentujut-kompleksnye-plany-razvitija-dalnevostochnykh-regionov.html](http://dvkapital.ru/regionnow/primorskij-kraj_24.04.2017_9804_vo-vladivostoke-na-vef-prezentujut-kompleksnye-plany-razvitija-dalnevostochnykh-regionov.html)

2017年4月20日 EastRussia

EEF 2017のイベント一つと予定されているフェスティバル「極東通り」は一週間開催される。

第3回東方経済フォーラムの枠内で9月5～10日、フェスティバル「極東通り」が開催される。極東連邦大学キャンパスの海岸通で、ロシア極東の各地域は、経済と文化面での成果を紹介する独創的な展示館を建設する。

アレクサンドル・クルチコフ極東発展副大臣によると、今年各地域は、その発展の経済的モデルの紹介、クルーズ、医療、グルメ、海水浴、民族学、環境、農業体験の観光に重点を置く予定。

<http://www.eastrussia.ru/news/ulitsa-dalnego-vostoka-na-vef-budet-rabotat-nedelyu>

2017年4月19日 コムソモリスカヤ・ブラウザ紙

### 東方経済フォーラムで一番優れた極東社会分野プロジェクトを紹介

東方経済フォーラムの「ゼロ日」と呼ばれる2017年9月5日に、地域プログラム「善行はよい都市の付き物」で優勝したプロジェクトのプレゼンテーションを行う。プログラムの目的は、教育、福祉、文化、宗教、美術、スポーツ分野プロジェクトの支援。プロジェクト支持に少なくとも5000万ルーブルの助成金を提供する。プロジェクトの実施は、極東における暮らし心地のいい環境整備に貢献すべきことだ。

<http://www.dv.kp.ru/online/news/2719731>

## ロシア極東地域の国家政策

2017年4月20日 Forumvostok.ru

ロシア人は「極東1ヘクタール」の無償提供を依頼する申請書を84,000通以上提出。第3回東方経済フォーラム開催の準備の枠内、モスクワでエキスパートが参加した円卓会議「『極東1ヘクタール』法成立一周年記念日——成果と展望」が開催された。極東発展省のS・カチャエフ副大臣によると、現時点、土地の提供を依頼する申請書は84,000通が提出され、その内12,000の土地はすでに提供されているようだ。

申請書提出と土地取得の間の平均期間は営業日33日で、関係ある組織の活動とそのロシア連邦土地財産権機関との協力体制改善の結果同期間を21日まで短縮できる。

<https://forumvostok.ru/eksperty-obsudili-pervyj-god-realizatsii-zakona-o-dalnevostochnom-gektare>

2017年4月17日 RBC

### 18カ国の人にはロシア極東を電子ビザを持って訪問可能

D・メドヴェージェフ政府議長は、住民が簡易ビザ制度を使って入国できる国のリストを承認した。住民が簡易ビザ制度を使って入国できる国々は、ブルネイ、インド、中華人民共和国、朝鮮民主主義人民共和国、メキシコ、シンガポール、日本、アルジェリア、バーレーン、イラン、カタール、クウェート、モロッコ、アラブ首長国連邦、オマーン、サウジアラビア、チュニジア、トルク。外国人は、有効期間が8日間以内の電子ビザを8月1日から取得できる。

国境検問所のテスト利用は7月1日から始まる。一番最初に利用できるのは、ウラジオストクにある諸検問所。その後外国人は電子ビザを利用して、自由港制度がある

五つの地域（沿海地方、ハバロフスク地方、サハリン州、チュクチ自治管区、カムチャツカ地方）で越境できるようになる。

<http://www.rbc.ru/rbcfreenews/58f4a8da9a7947b63015f176>

2017年4月17日 NewsMail.ru

### ロシアで極東地域の投資家を対象にホットラインサポートサービスがスタート

電話番号8-800-234-85-09番で、投資プロジェクトの実施で生じた問題などを受け付けている。極東投資誘致・輸出支援局が設立したホットラインは24時間365日対応、ロシア国内電話通話は無料。

L・ペトウホフ同局局長によると、一番焦眉の問題を極東開発省投資委員会へ提出する。

<https://news.mail.ru/society/29451762>

## ロシア極東地域の経済状況

2017年4月17日 タス通信

### 国際交通回路「沿海2号」経由最初の貨物が運送

試験的運送に使用されたコンテナは、中国の長春市から発送され、クラスキノ国境ポストを通じ、沿海地方のザルビノ港から貨物船で韓国の荷受人に届けられた。この試験的輸送で収集されたデータの解析により、トランジット貨物の輸送の障害となる問題の克服が期待されており、さらに貨物輸送期間の短縮にもつながると見られている。

専門家の予測によると、2030年までに、交通回路「沿海2号」の貨物取り扱い量は、穀物2300万トン、コンテナ貨物1500万トンに達するという。

<http://tass.ru/transport/4187612>

2017年4月7日 コムソモリスカヤ・ブラウダ紙

### 極東で世界初の浮体原子力発電所を建設

チュクチ自治管区のペヴェク市の浮体原子力発電所の建設は、国家プログラム「原子力エネルギー産業開発」の特別「極東セクション」に盛り込まれている。

発電出力70メガワットのチュクチ自治管区のペヴェク市の浮体原子力発電所は、2019年運転開始する。発電所は、浮体発電ユニット「ロモノソフ科学アカデミー会員」号と沿岸治水インフラから成り立つ。発電ユニットの建設費は215億ルーブルだ。

<http://www.kp.ru/daily/26664.7/368505>

## 極東発展を目指すの新しい装置——成功の実例

2017年4月26日 RIAノーボスチ

### 「カムチャツカ」先行発展領域の拡張の結果総額130億ルーブルのプロジェクトを実施可能

Y・トルトネフ副首相と極東開発省は、「カムチャツカ」先行発展領域への4つの地区の加盟に関するカムチャツカ地方政府が提案したイニシアチブを支持した。先行発展領域の拡張の結果、民間投資総額130億ルーブルに達する鉱業と漁業プロジェクトを実施できる。

<https://ria.ru/economy/20170426/1493156073.html>

2017年4月22日 タス通信

### 極東地域で16番目の先行発展領域が設立

D・メドヴェージェフ・ロシア政府議長は、ハバロフスク地区における「ニコラエフスク」という先行発展領域の制定に関する政令に署名した。9つの投資家は新しくできた先行発展領域でそのプロジェクトを実施する用意がある。その事業内容は、漁業、養魚、海運、機械と設備の据え付け、補修である。民間投資総額は31億ルーブルを超え、新規雇用は2,400人分になる見込み。

<http://tass.ru/ekonomika/4203312>

2017年3月17日 REGNUM通信

### ハバロフスクおよびソヴィエツカヤ・ガヴァニが自由港に指定

関係書類はすでに整理され、ロシア政府は9月6～7日にウラジオストクで開催される東方経済フォーラムの枠内で、該当書類を認可すると見られている。

極東開発省の意見で自由港制度制定の結果叱りべき都市には、より多くの投資家を誘致できると、A・クルチコフ極東開発副大臣は指摘した。特に、外国の実業家の場合は、電子ビザの入国は簡素化される。

<https://regnum.ru/news/economy/2263887.html>

2017年4月14日 フィンマーケット通信社

### 極東の投資家はインフラ開発を目的とする340億ルーブルの補助金をもらう

D・メドヴェージェフロシア政府議長は閣議で、その補助金のおかげ実業家は近代的インフラ整備の費用を賠償し、電力とガス系統接続費を少なくすることができると強調した。

補助取得の要件には、企業が組成する付加価値額、その納税額、国家、地方などの予算への強制的支払額、国家補助金の1ルーブル当りに勧誘された民間投資額など。

<http://www.finmarket.ru/database/news/4509538>